

簡単ディスク引越し Kit SSD_TURBO_BOOST システムディスク引越し

製品版／試用版共通マニュアル

manual version 1.4.000000



「簡単ディスク引越し Kit」をご利用の方はこのアイコンをクリックして本ソフトを利用ください。



「SSD_TURBO_BOOST」をご利用の方はこのボタンを押して本ソフトを利用ください。

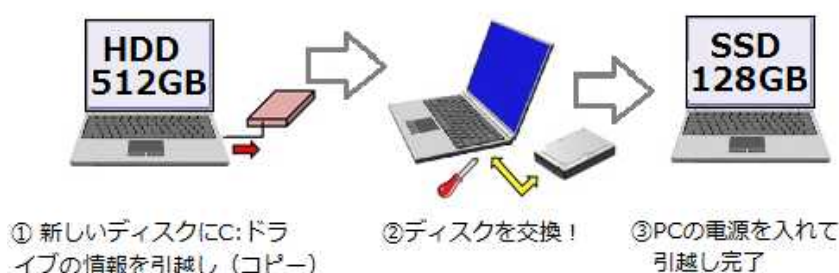
この場合、本マニュアルのアイコン



は適切、

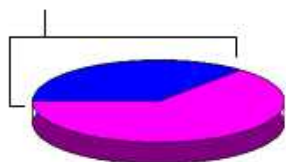


に置き換えてお読みください。



新ディスクの必要サイズ

使用領域 + 20% のサイズ



通常はCドライブの使用量+20%です。
メーカー製PCでリカバリ領域がある場合はこの分も必要になる場合があります。

使用承諾書

[1: 使用承諾一般条項]

○有限会社電機本舗(以下『弊社』といいます)は、お客様に対してこのパッケージに入っている製品を本書に従い使用することを承諾します。

製品とは、本パッケージに入っているソフトウェア、プログラムディスク、マニュアルのことです。ただし、サードパーティ製の添付プログラム、マニュアルは製品に含めません。サードパーティ製のプログラムの使用については各メーカーの規定に従うものとします。

○製品に関する著作権およびその他の一切の権利は、本契約で明示的に付与したものを除き全て弊社に帰属します。

○製品のサポートは弊社が実施します。ただし、サンプル、試用品、オマケとして添付されたものは原則としてサポートの義務を伴わないものとします。

○弊社製品の動作を阻害する他社製品との併用により発生した障害にはサポートしません。

[2: 使用制限]

○お客様は製品を同時に複数のコンピュータで使用できません。また複数の使用者による使用も禁止します。但しマニュアル等において例外的に複数の使用を許可している場合はこの限りではありません。

[3: 複製等の禁止]

○お客様はマニュアルに記載されていない限り製品の全部または一部を複製、解析、改変を禁止します。

○お客様は弊社の承諾なしに製品の一部ないし全部を売却、譲渡、貸与のいかなる方法で第三者に使用できません。

[4: 保証]

○お客様は製品の受け渡しから1ヶ月以内にフロッピーディスク、CD-ROM や印刷物の物理的な障害を発見した時は交換を要求できます。

[5: 免責]

○弊社は前条に定める場合を除き製品に関していかなる保証も行いません。

○弊社は製品の使用に関して直接または間接に生じる一切の損害(通常損害、特別損害およびその他一切の損害)について責任をおいしません。

[使用権の消滅]

○お客様が本承諾書に違反した場合または著作権法その他の命令に違反することによって、製品に関して弊社の著作権およびその他の権利を侵害した場合は[1: 使用承諾一般条項]規定の使用権は消滅します。この時はただちに製品を弊社に返還しなければいけません。なお返却のための費用はお客様に負担していただきます。

有限会社電機本舗

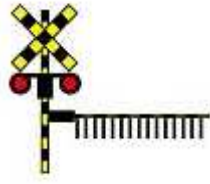
<http://www.dnki.co.jp>

東京都港区高輪 1-2-16 フラットウェル高輪(旧鈴木ビル)6A

目次

1.インストール.....	4
1.1. 事前確認.....	4
1.2. 事前バックアップ／OS 標準のバックアップの実施.....	7
2.システムディスクの引越し方法.....	9
3.ディスクの交換.....	12
4. Windows10 で頻発している問題への対応.....	13
5.Windows を SSD に最適化した設定を施す.....	15
5.Disk 管理機能.....	16
5.1 ディスク管理ソフト.....	16
5.2 強制ディスク接続.....	16
6.Q&A.....	17

1.インストール



インストールにあたり、ウイルス対策ソフトの遮断を切ってください。
ウイルス対策ソフトの遮断により発生する各種問題のテクニカルサポートはウイルス対策ソフトの販売会社に依頼してください。

本ソフトを書き込み可能な任意のディスク装置に保存してください。特別なインストールは不要です。

1.1. 事前確認

① BIOS/UEFI の確認しセキュアブートを無効にする

PC の電源を入れた時に最初に表示する BIOS/UEFI の設定画面でセキュアブートを無効にしてください。

セキュアブートが有効の場合、**複製したディスクで起動できなくなります。**

[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/hardware/dn898540\(v=vs.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/hardware/dn898540(v=vs.85).aspx)

詳細は上記 URL を参照ください。

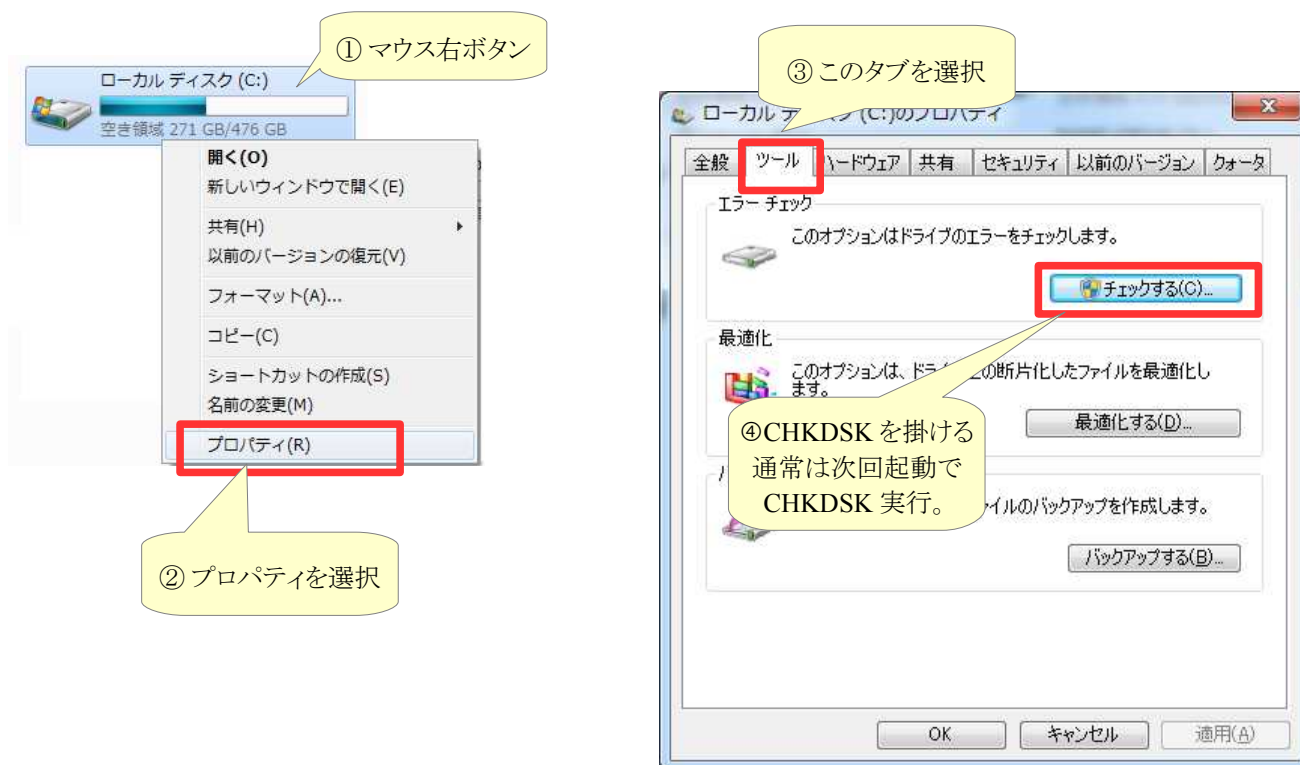
PC 起動時、BIOS/UEFI 設定画面を呼び出すキーを押してください。
これにより表示する BIOS/UEFI 設定画面からセキュアブート(Secure Boot)という項目を探してください。通常はブート(Boot)という起動関連の設定項目にあります。古い PC にはセキュアブートはありません。

PC 本体のセキュリティ強化を目的としてセキュアブートという機能が追加されました。
起動ディスクを変更した場合、セキュアブートが誤動作して起動をブロックする副作用があります。複製したシステムディスクから起動する場合はセキュアブートは無効にしておく必要があります。

セキュアブートを有効にしたい場合は複製したシステムディスクで **PC の起動を複数回起動を確認**した後、行ってください。

②システムディスクのメンテナンスを行う

また C:ドライブは CHKDSK を掛け万全を期してください。CHKDSK はディスクのメンテナンスソフトです。



③ OS の電源の設定

■省電力設定の確認

Windowsのトラブルの大半が節電の誤動作に集中しています。事前に節電を切る事を推奨します。節電周りはPCの構成、接続するUSBケーブルの節電への対応状況により出る機種とでない機種があります。いわゆる相性問題で片付けられている問題です。事前に無難な設定をする事を推奨します。

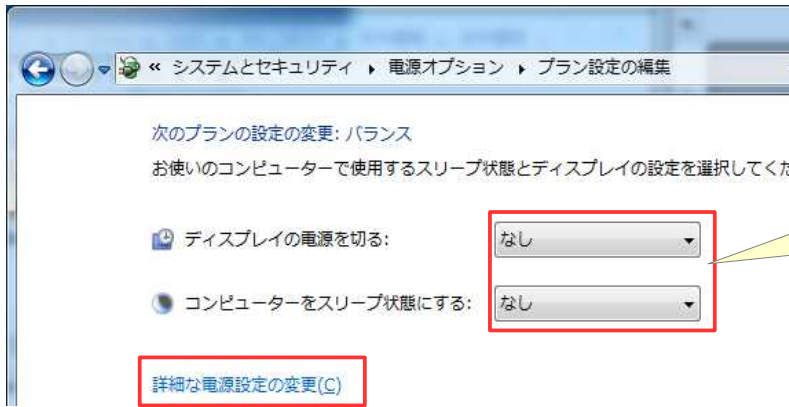
一律節電は全部切るのが安全です。

[コントロールパネル]→[電源オプション]より電源設定を確認できます。
電源プランは**バランス**が高パフォーマンスを推奨します。

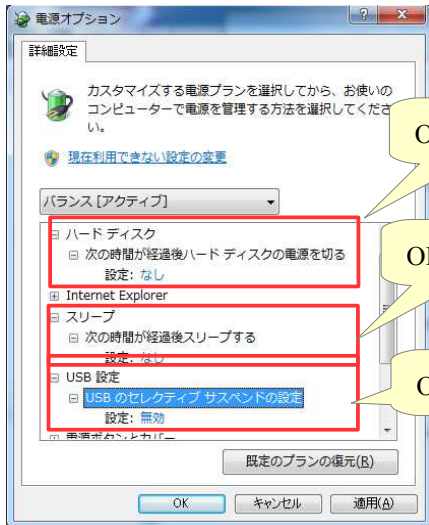


Windows の初期設定
なので一番テストされ
ていて安心。

トラブルの元である節電
を否定しているモード
なので安心。



省電力設定
をOFF



OFF を推奨

OFF を推奨

OFF を推奨

PC の構成、接続する USB 装置との
相性問題を引き起こします。
これら無効 (OFF) を推奨します。

- ・ハードディスクの節電をOFF推奨
- ・スリープの OFF を推奨
- ・USB のセレクトティブサスペンドを
OFF を推奨

この他、節電機構は一律 OFF
を推奨します。

1.2. 事前バックアップ／OS 標準のバックアップの実施

Windows10 において複製したディスクで最初の一回は PC を起動できる、しかし2回目から起動出来ないという問題があります。

Windows10 はビルド番号として 1507, 1607, 1709・・・と毎年あるいは半年ごとに仕様が変化してこの問題が出るようになったようです。

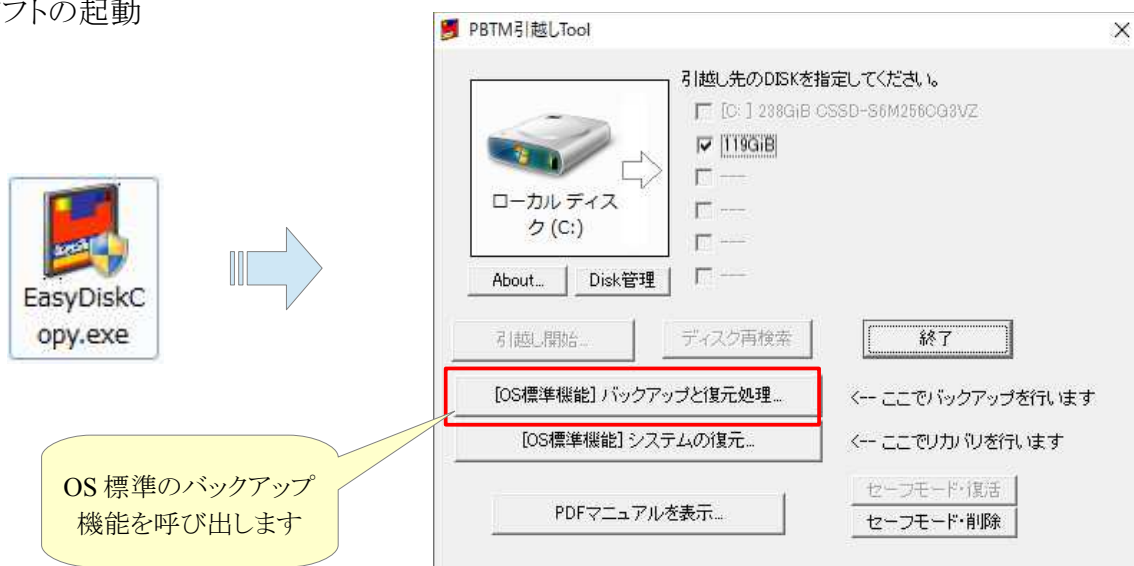
この問題は次の手順を踏み解決できます。



Windows7, 8 および Windows10 の初期ビルドではこの症状は未発生でしたが万全を期すため OS の標準のバックアップは事前に実施を推奨します。

ここでは Windows10 においてバックアップ方法を説明します。

①本ソフトの起動



② OS 標準のバックアップ

コントロールパネル(システムとセキュリティ)/バックアップと復元 (Windows 7)

バックアップと復元 (Windows 7)

バックアップと復元

場所: (F:) 残り 991.65 GB (全体 1.82 TB) バックアップ サイズ: 150.70 GB 領域を管理します (M)

次回のバックアップ: 2019/08/04 19:00
最新のバックアップ: 2019/08/01 11:41
内容: ライブラリおよびすべてのユーザーの個人用フォルダのファイルとシステムイメージ
スケジュール: 毎週日曜日の 19:00 設定を変更します (C)

バックアップ

今すぐバックアップ(B)

通常はこのボタンを押すとバックアップを開始します

初めてのバックアップの場合はこちらを押してください

復元

現在の場所にバックアップされているファイルを復元できます。
すべてのユーザーのファイルを復元します (A)
ファイルの復元元として別のバックアップを選択します (N)

■「設定を変更します」を押した場合

次の画面が出ます。

バックアップの設定

バックアップを保存する場所の選択

バックアップは、外部ハードドライブに保存することをお勧めします。

バックアップを次に保存(B):

バックアップ先	空き領域	合計サイズ
DVD RW ドライブ (E)		
ローカル ディスク (F:)	991.65 GB	1.82 TB

最新の情報に更新(B) ネットワークに保存(N)...

次へ(N) キャンセル

バックアップ先は DVD、ローカルディスク(内蔵か外付けディスク)、ネットワークディスクを指定できます。**※DVD は容量不足の心配があるので非推奨です。**

すると次の画面が出ます。通常は「自動選択」を選んでください。

バックアップの設定

バックアップの対象

自動選択 (推奨)

ライブラリ、デスクトップ、および既定の Windows フォルダに保存されたデータ ファイルがバックアップされます。また、システムイメージも作成されます。このイメージを使用して、コンピューターが動作を停止した場合に復元できます。これらの項目は、定期的なスケジュールでバックアップされます。

自分で選択する

ライブラリやフォルダを選択したり、バックアップにシステム イメージを含めるかどうかを選択できます。選択した項目は、定期的なスケジュールでバックアップされます。

次へ(N) キャンセル

通常はこちらを選択

これを押すとバックアップを開始します

③回復ディスクの作成

念のため回復ディスクの作成を推奨します。

特に「Windows のインストールメディア」を持っていない時には必ず作成ください。

Windows10 の場合、半年ごとに OS の入れ替えという大型更新が発生します。

大型更新が起きた時には安全のために「システム修復ディスク」を作ってください。



「システム修復ディスク」は PC の起動できる OS の修復用ディスクです。

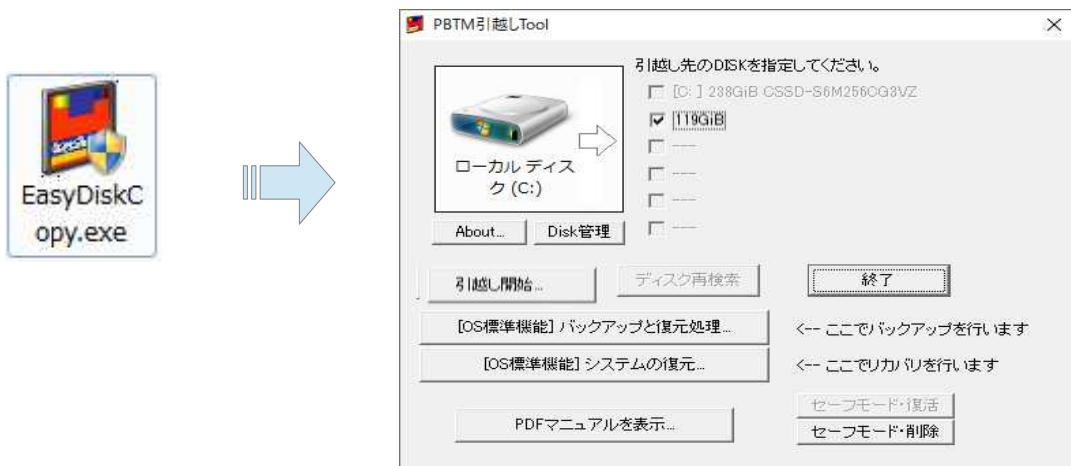


2.システムディスクの引越し方法

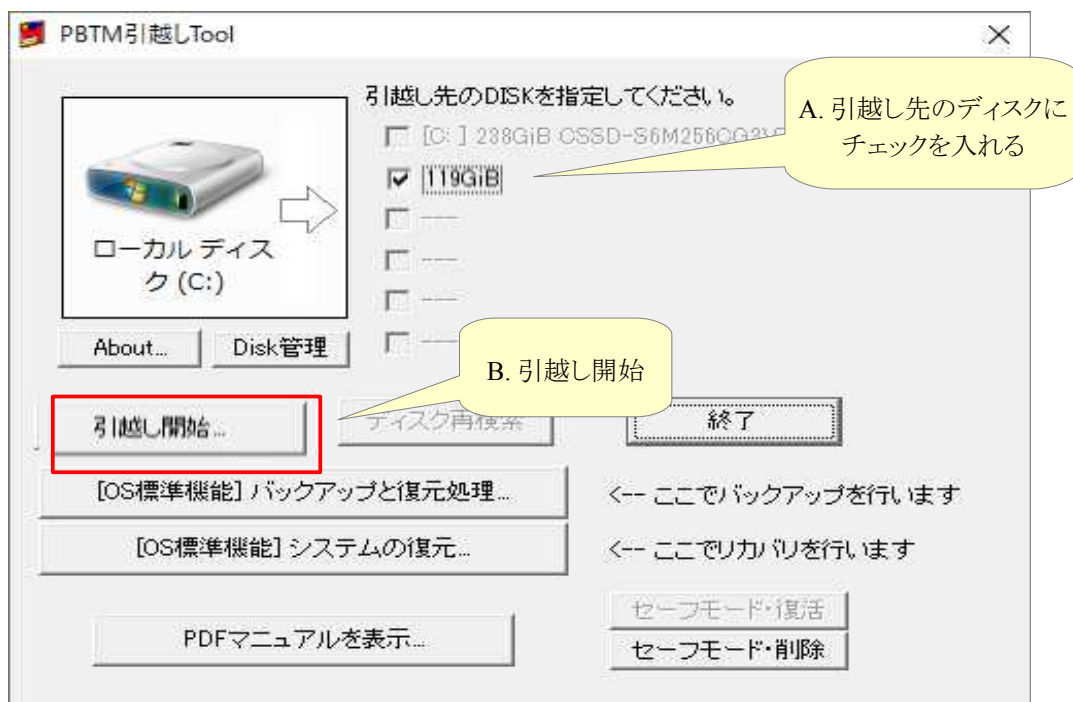
①引越し先のディスク装置をパソコンに接続してください。



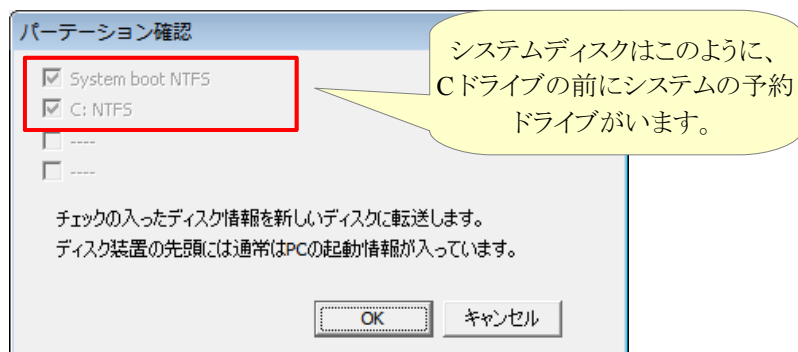
②本ソフトを起動してください。管理者権限でログオンしている必要があります。



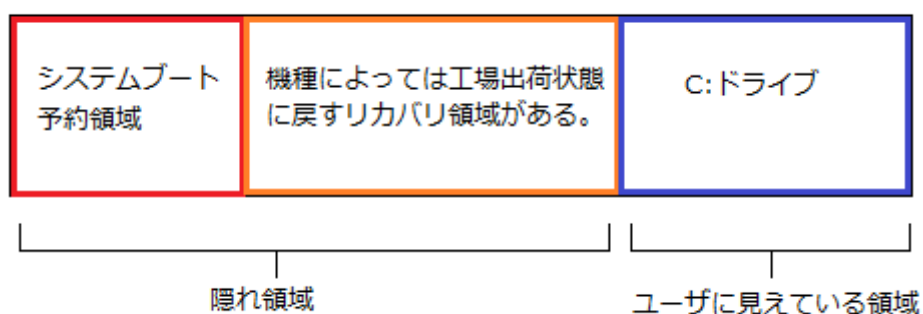
③引越し先のディスクを指定。



④システムディスクの確認。



ここではディスク構成の確認を行います。OK ボタンを押してください。

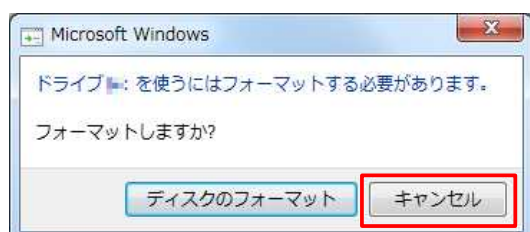


システムディスクは出荷メーカーにより構成は異なりますが、通常はこのような2部構成をとります。

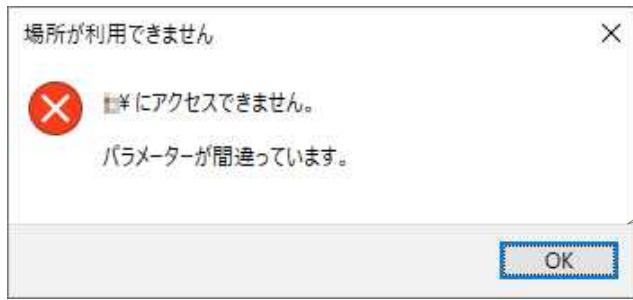
⑤隠れ領域の転送。



本ソフトは最初に隠れ領域を転送します。

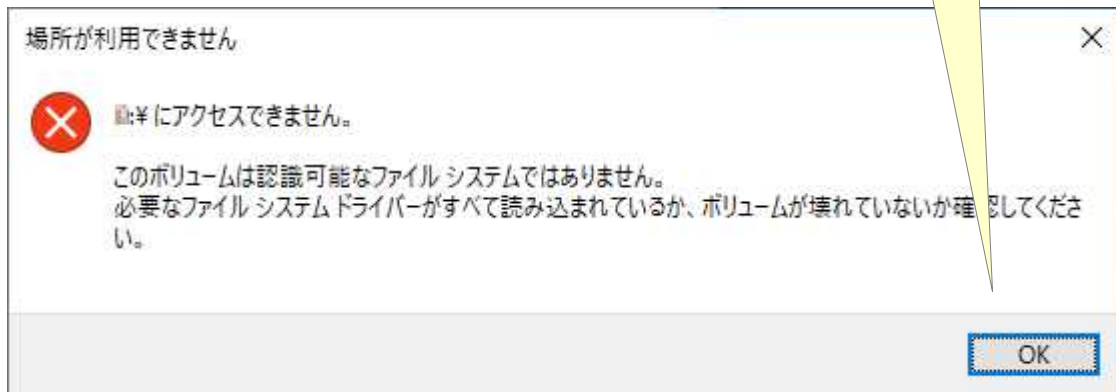
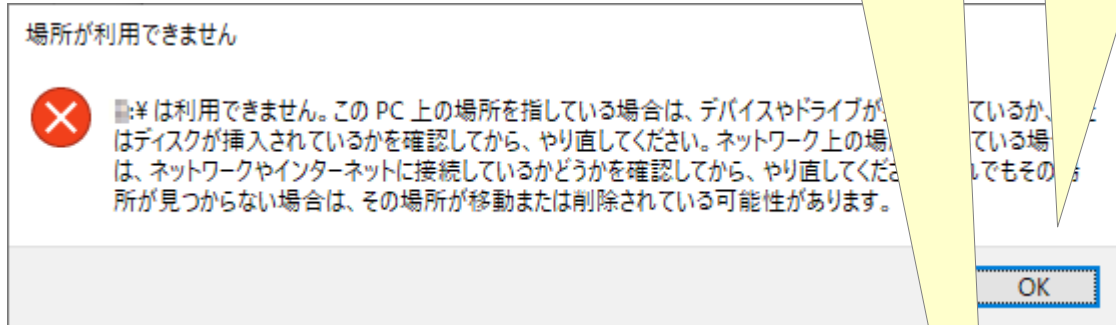


転送が終わった後、引越し先のフォーマットを聞いてきます。ここではキャンセルを選択

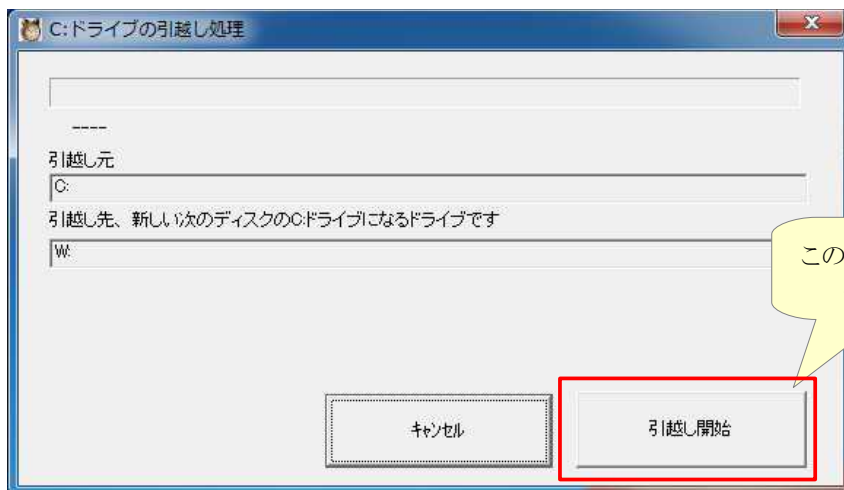


このような画面が出る場合があります。これは複製先のディスクのパスが変化したためです。これは問題がないです。気にしないでください。

この画面が出たらOKを押してください。



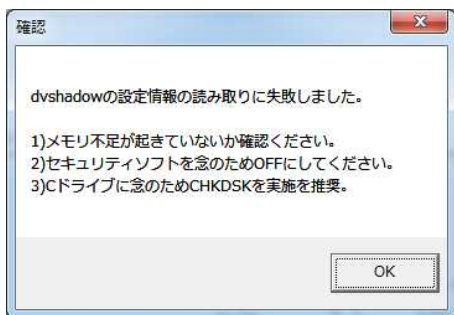
⑥ C:ドライブの転送。



このボタンを押して引越し開始



C:ドライブの使用容量によりますが 30 分～数時間かかります。
この転送が終わるとディスクの換装前準備は終了です。



このエラーが発生した時は、メモリ不足、セキュリティソフトの干渉、CHKDSK をチェックしてください。
特にセキュリティソフトは引越しの間は停止するようにしてください。

3. ディスクの交換

ディスクを交換しパソコンを再起動すれば通常は引越しは完了です。

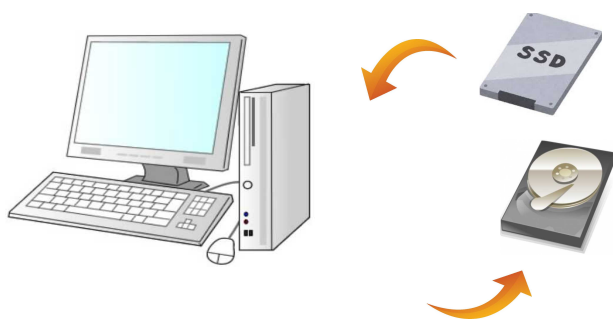
①まず電源を切ります。



必ず電源を切ってください。でないと**パソコンが壊れます**。

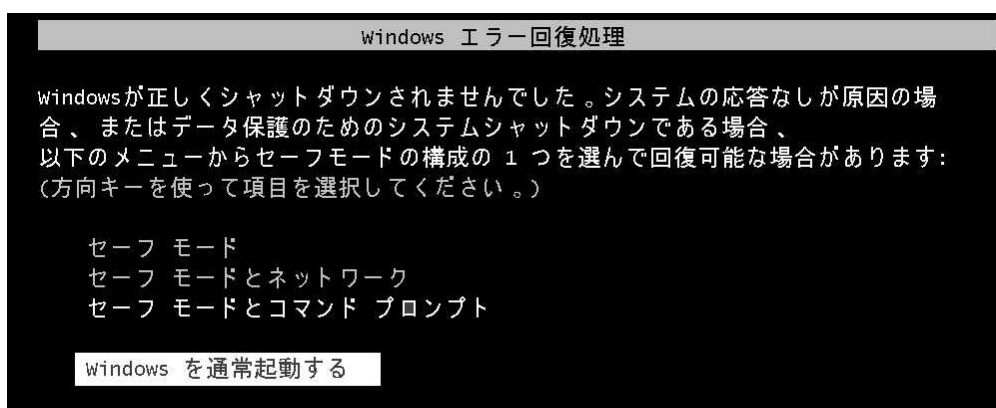
※Windows8の方は特に注意してください。8は工場出荷状態ではシャットダウンを特殊なスリープに設定しています。

②パソコンのディスク装置を交換します。



元から入っていたディスクを外し、代わりに新しいディスクを入れてください。

③電源を入れて再起動。



Windows7, 8では初回はこの画面が出ます。通常起動を選んでください。本ソフトでの引越しはPCが起動している時のディスクを中身を正確に複製します。このため前回、シャットダウン処理をしていないと判断されこの画面が出ます。

Windows7, 8では通常はこれでパソコンが起動し、システムディスクの引越しは終わりです。

Windows10の場合は版により異なります。次章を参照ください。

4. Windows10 で頻発している問題への対応

Windows10 は版により幾つかの問題が起きています。

A. 初回起動はできるが2回目から起動がおかしい。

→ 初回起動で「システムの復元」を実施してください。解決します。

※バックアップディスクを事前に接続しておいてください。

B. 初回から起動ができない。

→ PC 起動時、「規定の起動設定やその他のオプションの変更」→「その他のオプションの選択」
→「トラブルシューティング」→「詳細オプション」→「システムの復元」を呼び出してください。
解決します。

※バックアップディスクを事前に接続しておいてください。

ここでは A.の解決方法を説明します。

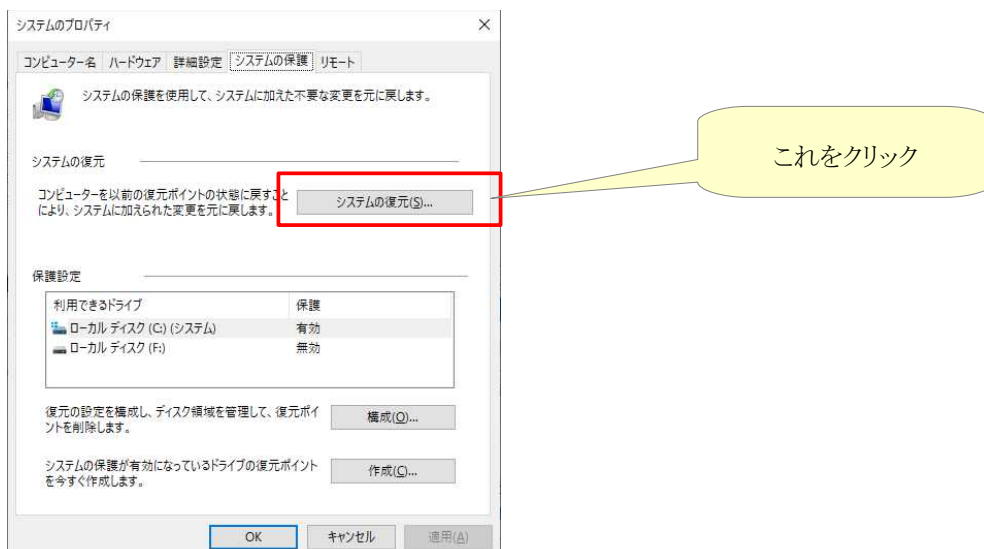
Windows10 において複製したディスクで最初の一回は PC を起動できる、しかし2回目から起動出来ないという問題があります。

解決策として初回起動時にシステムの復元をかけてください。解決します。

①まずシステムの復元を起動します。



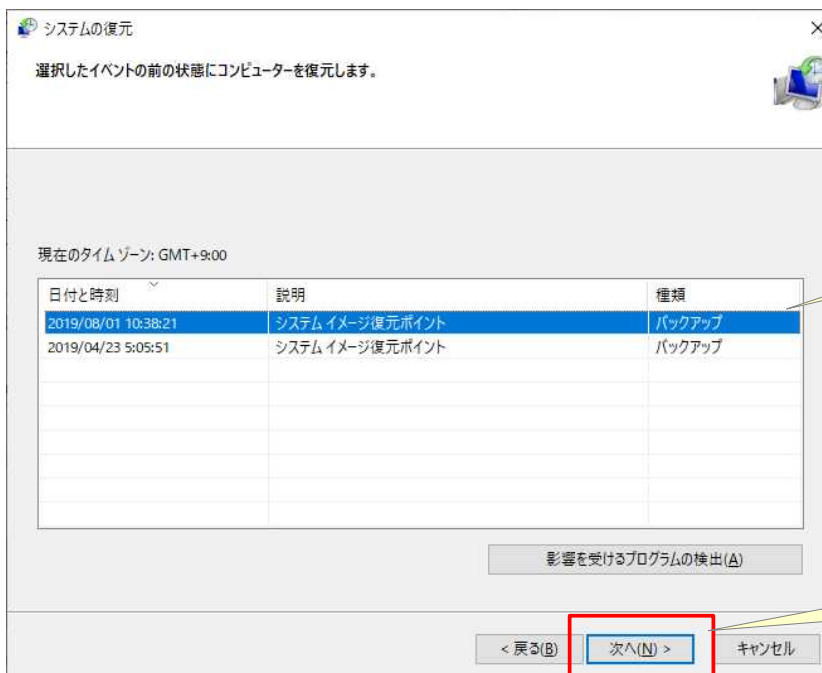
②次の画面がでます。



③次の画面がでます。



④次の画面がでます。



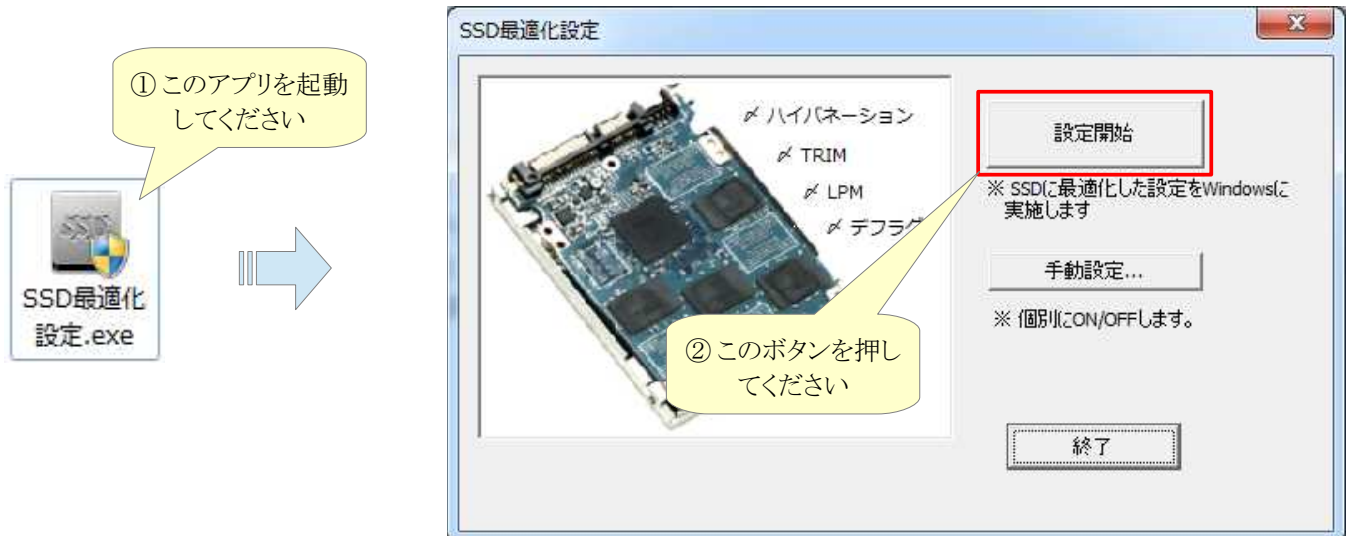
復元には数十分から数時間かかります。
お待ちください。



5.Windows を SSD に最適化した設定を施す

ハードディスクへの引越しをした方はこの設定は不要です。読み飛ばしてください。

Windows の初期設定は SSD に向いていません。特にハイバネーションと言って SSD の寿命をカンナで削るように縮めます。これらの設定を SSD 用に変更します。



「SSD 最適化設定」というプログラムを用意しました。SSD に引越ししてから「SSD 最適化設定」を実行してください。「SSD 最適化設定」は自動で Windows に SSD 用の設定を実施します。

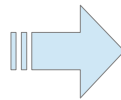
これで全作業は終了です。

5. Disk 管理機能

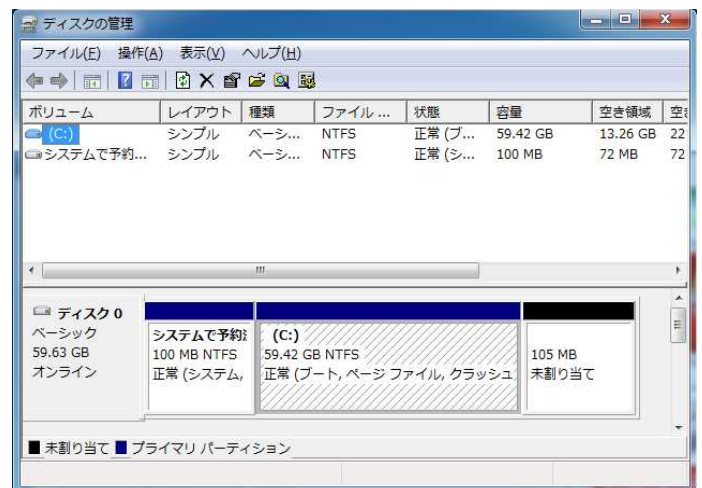
ディスクを管理する上で便利な機能を紹介します。



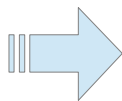
5.1 ディスク管理ソフト



このボタンを押すと Windows 標準のディスク管理ソフトが起動します。使い方は OS の説明書を参照ください。



5.2 強制ディスク接続



本ソフトでディスクを新しい物に交換した後、旧システムディスクが余ります。旧ディスクは新装した PC では認識しません。複製関係にあるためディスクの署名(サイン)が同じためです。異なる PC では旧ディスクは問題なく接続できます。

強制ディスク接続は、この旧ディスクを強制的に PC に認識させます。副作用として、旧ディスクは起動ディスクとして使用できなくなります。引越しが完了し、後戻りの心配がない時に利用ください。

6.Q&A

分冊のサポートガイドを参照ください。

お問い合わせ

本ソフトの OEM、カスタマイズなどを希望する方は下記にご連絡ください。

有限会社電機本舗

<http://www.dnki.co.jp/>

東京都港区高輪1-2-16-フラットウェル高輪6A